

9. 北灘町

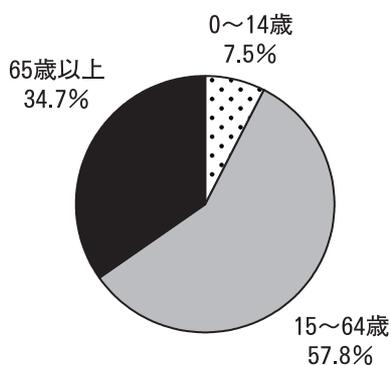
9-1 現 状

〈人 口〉

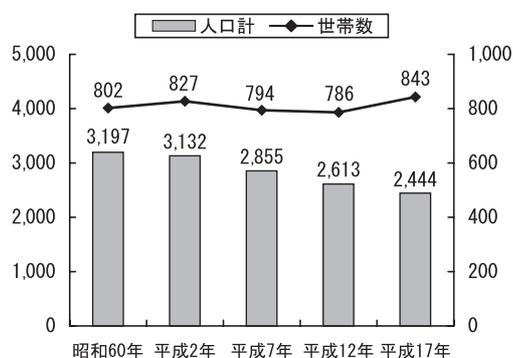
比較的人口規模のある折野、粟田、櫛木地区でも人口の減少が続いており、その他の集落地でも、人口減少が続いています。この地域の人口は全体として緩やかに減少しており、老年人口が30%を超え、年少人口が10%を割るなど、少子高齢が進んでいます。

人 口	2,334 人	世 帯 数	932 世帯
世帯あたりの人数	2.5 人/世帯		
年 齢 別 人 口	年少 (0~14歳)	175 人	7.5 %
	生産年齢 (15~64歳)	1,350 人	57.8 %
	老年 (65歳以上)	809 人	34.7 %

※世帯数・人口：平成22年3月末現在住民基本台帳登録人口



年齢別人口割合 (平成22年3月末住民基本台帳)



人口と世帯数の推移 (国勢調査)

〈土地利用・市街地整備・都市施設・公共交通〉

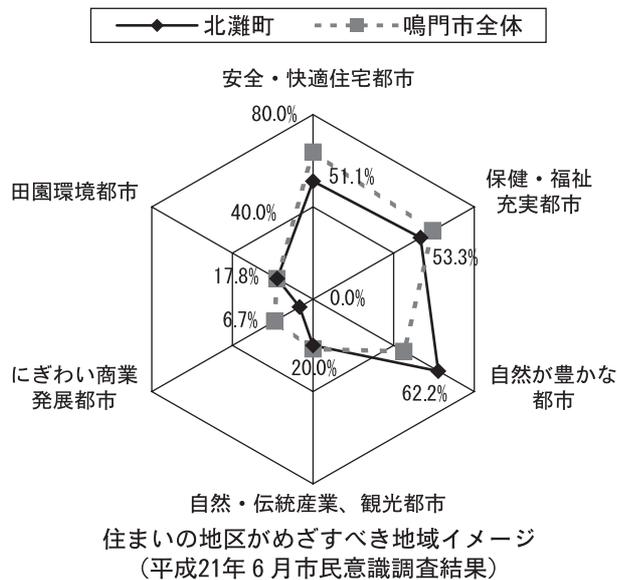
- 本地区は、鳴門市の北端に位置し、山と海に囲まれ平野が少なく、国道11号沿いの漁港に集落が形成されています。
- 粟田・大浦をはじめとする漁港と漁港的な性格の強い折野港があり、粟田漁港では、定期的に魚の市等が開催されています。
- 平地では水稻が栽培されており、傾斜地では梨・はっさく等の果樹が栽培されています。
- 大須、碁浦から大阪峠にかけての地区が瀬戸内海国立公園に指定されているほか、大麻山に至る折野地区一帯が大麻山県立自然公園に指定されており、水と緑の豊かな地域です。
- 西部には、美しい自然環境を利用したゴルフ場やホテルなどの観光レジャー施設が立地しています。
- 櫛木川・折野川等のホタル生息地では、地域住民による保全活動が行われています。
- 中心市街地と東かがわ市を結ぶ鳴門市営バスが運行されています。

〈その他〉

- 阿讃山脈を背景として波静かな瀬戸内海に面し、国道11号沿いに、のどかな漁村風景が形成されています。

9-2 課題

- ①人口減少・少子高齢の進展が著しいことに加え、集落間の距離が遠いため、地域のコミュニティの維持に課題があります。
- ②地区内には商業地がないため、日常の買い物を中心市街地とその周辺に依存しており、高齢化の進展に伴い移動困難者の増加が予想されることから、中心市街地への公共交通の確保が必要です。
- ③サル・イノシシなどの野生生物による農作物への被害が深刻になっています。
- ④採石場については、周辺環境への配慮と緑化による自然回復など景観への配慮が必要です。



地区懇談会での主な意見

- ・人口減少・少子高齢化の進行、定住人口増加について
- ・公共交通（市バス）の確保、スクールバス導入について
- ・有害鳥獣の農作物への被害について
- ・産業の立地による地域の活性化支援について
- ・検問所の無人化に伴う地域の治安の悪化について

平成21年度実施地区懇談会

9-3 地域づくりの基本目標

以上をふまえて、地域づくりの基本目標を

- 豊かな水や緑、海辺の環境を守り漁業を振興するまち
- 自然と共生し海の景観を活かした観光のまち

とします。

9-4 基本構想

(1)まちづくりの拠点

①水の拠点

粟田漁港は、定期的な魚の市等の開催により地域住民と都市住民の交流の場として機能していることから、交流拠点としての漁港整備を進めます。

大浦漁港は、直販施設の設置を検討するなど都市住民の交流の場として必要な整備を進めます。

②スポーツ・レクリエーションの拠点

ゴルフ場やリゾートホテルなどの観光レジャー施設が立地しており、地域の活性化に貢献していることから、スポーツ・レクリエーションの拠点として位置づけます。

(2)まちづくりの軸

①広域軸

本地区の北側を国道11号が走り、徳島・高松方面の広域軸を形成しています。

②地域軸

県道徳島北灘線、県道大谷櫛木線を地域軸と位置づけます。

③水の軸

櫛木川・折野川は、ホテルなどの生息環境を保全し緑豊かで潤いのある水辺空間となるよう配慮します。

9-5 土地利用の方針

①農用地ゾーン

今後も農用地としてより一層の生産性向上を図るため、必要な基盤整備を推進します。なお、野生生物との共存を図りながら、農作物の被害軽減対策を実施します。

②新産業・流通ゾーン

国道11号沿道地区を新産業・流通ゾーンと位置づけ、既存の工業団地と連携しつつ、交通利便性を活かした新しい産業・流通業務等への計画的な土地利用転換を推進します。

③山林ゾーン

山林部については、地区の一部が瀬戸内海国立公園、大麻山県立自然公園に属していることから、市民の貴重な緑として維持・保全を図り、乱開発の防止に努めます。

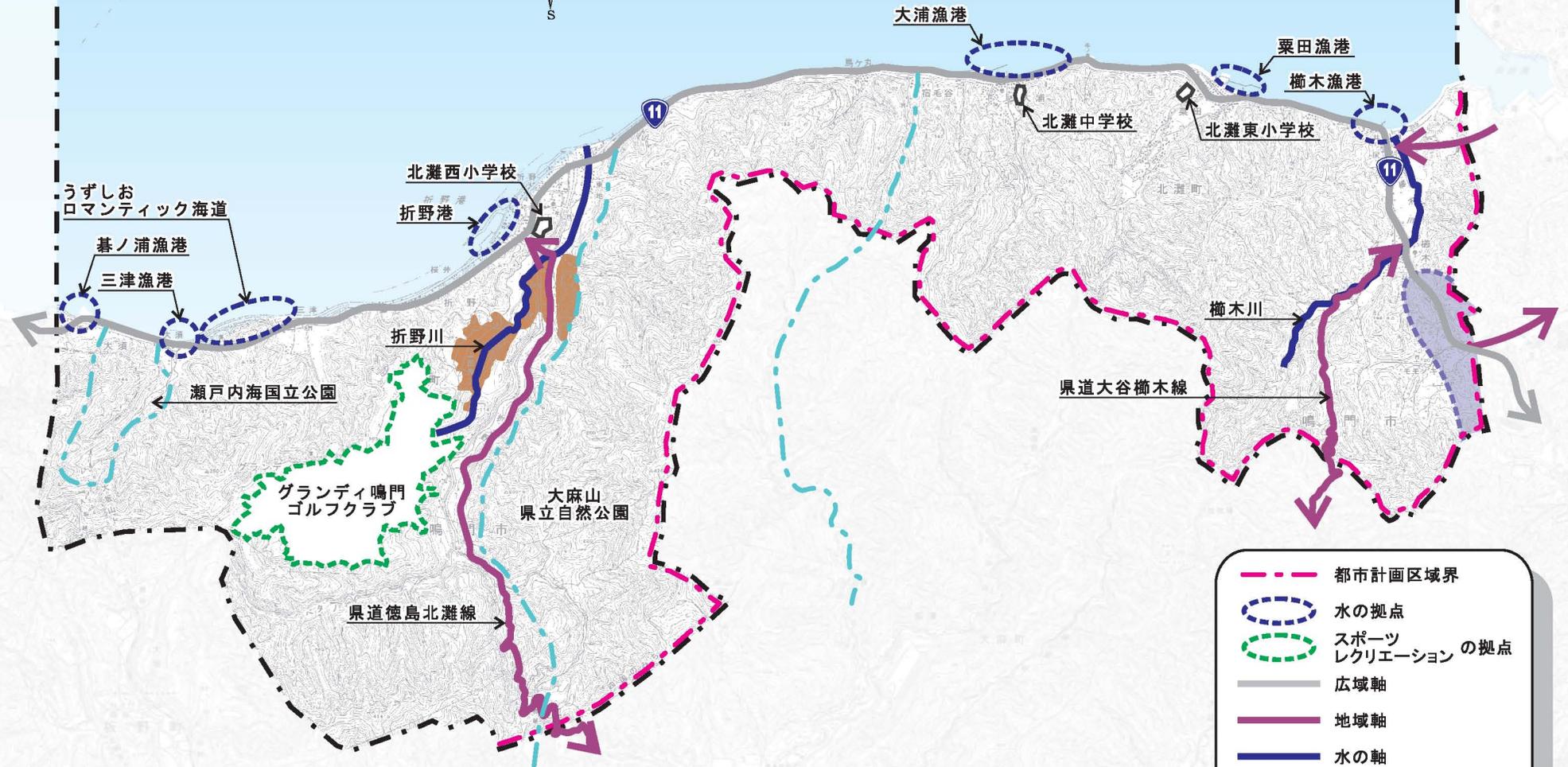
9-6 防災・生活環境その他特記事項

- 地域の活性化に資するよう、美しい海岸線や自然環境、のどかな漁村・海辺の景観の維持保全に努めます。
- 定住人口や交流人口の増加に向け、地域の実情に応じて、U J I ターンや二地域居住など地域の活性化策について検討します。

北灘町



《 77 》



- 都市計画区域界
- 水の拠点
- スポーツレクリエーションの拠点
- 広域軸
- 地域軸
- 水の軸
- 農用地ゾーン
- 新産業・流通ゾーン
- 自然公園界



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業複、第228号）